

盛に行つて居り、十一日市街各所に反日スローガンのピラが現はれるや支那人の家宅捜査は一段と猛烈を加へたと云はれて居る。

一、(上海)、支那一日報に依れば最近日本軍内の反亂が頻發し汪偽政府軍は相次で支那國民政府に投降して居る、二十一日安徽省に於て偽軍は武器弾藥を奪つて支那軍に投じ又十二月七日には江西省北部に於て之亦支那軍に投降した。

一、(伯林)、ゲツベルス宣傳相は巴里滞在の外人記者團との會見席上英國は獨逸の本土上陸に對し海峽の防衛完璧なりとなして居るが宛も佛國がマヂノ線は不落なりとして居たのと同様に併しマヂノ線は獨逸軍の侵入により何の苦もなく破壊され佛の希望は潰え去つたではないかと語つた。之に對し伯林消息通の間ではゲツベルスの聲明は信すべし根拠ありとなして居る様である。

一、(紐育)、UP電に依れば獨當崗は復員した柳兵の中二十一才の青年を青年宿舎に收容し六ヶ月乃至十ヶ月の後、通路、運河の經設勞働に従事せしめる筈である、現在收容中の青年は一九四〇年召集の者十萬人に達して居る。

外國宣傳情報第一號

情報局一二〇八一七

一 重慶日本語放送(十三日) 一 講演

(東京都市遞信局聴取)

最近松岡は外人記者團との會見に於て談話を發表し、日本の外交政策は日獨伊三國同盟の精神に據つて爲すことを強調し、米日關係に就いては軟化の口吻が窺られるのである、松岡の談話を見て我々は其の淺薄な見解に對し寧ろ憐れを感じ、外交界に於ける恥知らずの態度に驚きを感じるのである、何故かと云ふに、九月下旬日獨伊三國同盟成立の際松岡は對米戰爭敢て辭せずと廣言し之に對しノックス米海軍長官は日本の挑戦を恐れずと嚴然たる態度に出で、言論戰は大風波を惹起し日米間は緊迫したのであつた、が幾何もなく日本は米國に媚態を呈し米國が太平洋に干渉しない様希望し、東亞制覇獨占に出でんとした、誠に恥知らずで淺薄なること驚く外ないのであるが、之は松岡が云ふのでなくして軍閥の内幕を受けて表限して居るのであらう、外交は一個の外交官ではどうにも成らぬものとは云へ、眞に外交官的人物を有して居たらこんな事はあるまいと思ふ。

松岡の談話を見れば詭辯と云ふ外なく、對米戰の意なきこと、米國を愚弄する意あることが表明して居る、三國同盟を外交政策の基礎となすと強調して居るが、三國同盟は元來そ

の本質として米國を目標として居ることは當然で日獨は歐洲及アジアの新秩序建設を企圖して結むたものであり英を消滅せしめ米を排斥せんとするのであり又、三國同盟は日本が獨伊を援助するを規定して居るのに對し英を援助するは米國がその第一國である以上松岡の談話は米國を馬鹿にした話である。

何故松岡はこうしたか？それは軍閥の苦策を受けかくせざるを得なかつたからである、日本軍閥は米國が英國を援助すると共に太平洋の權益の護衛に當るのを恐れをなし、米國が極東から退き日本の獨占に委ねることを希望した、所がそれだけの實力はない、そこで松岡に命じて媚態政策を執り、南進は依然豫定の通り遂行しやうと云ふのである。

第一松岡の談話は盟友たる獨伊を馬鹿にしたものである、獨乙は歐洲の戰敗國の極東植民地を日本に與へないと云ふのではないのに日本は獨伊を冷笑する様になつたことを證明して居る、獨乙は英國攻撃で失敗、伊はギリシヤで惨敗、ソ獨の伯林談判も思はしい結果は得られず、そこで日本は松岡を以て米獨戦には日本は援助の必要なしと云はしめたのである、獨乙の米進攻に三國同盟の盟邦たる日本が援助しないと云ふのは誠に不忠實な告白である、ヒトラーも東方の盟邦も信賴するに足りずと云ふことであらう、若し之が事實とすれば、松岡は對米排戦の時之を云はずに今頃こんなことを云ふのであらうか、誠に一顧の價値もないことである。

さて中國はと云ふに、日本は中國に和平工作に出たが、全國は誰も相手にする者がなく、不撓不屈の抗戦を続け最後の勝利を得る迄決して已むことなきを誓つたのであつて、然る後始めて眞の平和が建立されるのである。

外國宣傳情報第二號

一重慶日本語放送

十二月十四日

一講演

情報局一二・七七

(東京都市逓信局專取)

中國の三年の抗戦によつて深い泥沼に陥つた日本は神風の如き歐洲戰を絶好の機會とし歐洲戰に忙殺され英米兩國が極東を顧る暇なしと考へ、更に佛の惨敗に乗じ植民地を奪はんと三國同盟を締結し海南島臺灣に大軍を集中し、南太平洋の各國の權益を完全に破壊せんとした、そこで英米は極東防衛力を強化する計りでなく英、米、蔣が共同防衛を計り中國の抗戦に更に多くの援助を與へた、之は日本の南進の迷夢に重大な打撃を與へるものである、蘭印の攻略には十二ヶ師を出動せしめなければならず、と云つて中日戦の泥沼に陥つた日本にはその實力なく、已むなく日本は建川をソ聯に派しソ聯と條約を締結せんとし一方和平工作を中國に對してなし、兵力を南進の方に廻さんとした併し太平洋に於て中國は英米と國と共通の意義を有して居るのである、若しも中國が兼併されれば英、米ソは必ず脅威を受けるに相違ないからである。英米は日本に對して上述の通